

団体名	特定非営特定非営利活動法人フードバンク TAMA
助成額	500,000 円
申請事業名	ひとり親貧困家庭の子供に笑顔を！ プロジェクト
HP	http://foodbank-tama.com/

活動・事業報告

2019年度のフードバンク TAMA の活動につきましては、ひとり親家庭への食料支援に重点を置きました。即ち、貧困状態にあるひとり親家庭を対象にした以下のような直接的な食支援活動として、昨年4月からは3年目となる立川市、多摩市のひとり親家庭への直接的食料支援を、昨秋からは日野市において行政や社会福祉協議会、児童福祉施設と連携する新たな食支援活動（フードパントリー事業）を展開しました。日野市における本事業は、日野市、社会福祉協議会、フードバンク TAMA が連携し、子ども貧困問題の改善のために必要な具体的アクションとして、貧困家庭が市の福祉窓口に行くのは時間的、心理的に敷居が高すぎるので、民間の NPO 法人

であるフードバンク TAMA がその窓口となるのが適切と判断し、活動を展開しました。また、年間を通して、児童福祉施設、及び、子ども食堂に滞りなく毎月精力的に食料支援活動ができました。

2019年4月～2020年3月までの数値的成果は、以下の通りです。

- ・立川市・多摩市：年間で食品約8キロを詰めたダンボール360箱（360世帯）を配送しました。
- ・日野市：2019年11月～2020年3月にかけて36世帯に食品を送付しました。
- ・児童福祉施設・子ども食堂への食料支援：721施設（延べ）、合計25,655キロの食品を配布。

助成金を受けての成果とその自己評価

本フードバンクは、4年目に突入したこともあり、認知度が高まってきました。そのためか、様々な企業や地域からの食品寄贈が増え、また、提供要望も増えてまいりました。本助成金は、そうした中であって事業を円滑に進めることができ、大いに感謝しております。前項の数値的成果は、貴助成金なしには達成できなかったと思います。

また、新型コロナウイルスの影響が押し寄せ、2020年2月以降は、企業や地元からの余剰食品の寄贈が増え、それに伴い、児童館や学校、子ども食堂からの食品要請が著しく増加しました。行政や社会福祉協議会からは、本事業がそうした時代にマッチした活動であることに高い評価を頂くことができました。

今後の活動の展望

ひとり親家庭への食料支援は、本フードバンクの主たる活動であることは変わりありません。新型コロナウイルスがおさまるまでに、今後、長い期間を要するものと思われるため、本フードバ

ンクが果たす役割は今後ますます増加するものと思われます。よって堅実で確かな活動を展開していく所存です。



2019.6.17 JR八王子様より保存食品受贈



2019.8.1 多摩友の会様のミーティングに参加



2019.8.17 八王子市児童養護施設へ食品寄贈



2019.10.10 学生ボランティアと箱詰め作業



2019.12.15 立川市ひとり親施設にクリスマスケーキを



2020.3.5 日野市児童館へコロナ対策として